

# 被災者生活再建支援制度の抜本的拡充を求める

## とりくみニュース

### ≪発信元≫

東北6県生協連運動事務局  
宮城県生活協同組合連合会

責任者 野崎 和夫

TEL 022-276-5162

FAX 022-276-5160

NO. 1 (2014年8月7日)

### ■署名の集約状況 (7月31日現在)

取り組み生協	筆数
みやぎ生協 (宮城県)	20,901 筆
東信医療生協 (長野県)	25 筆
宝塚医療生協 (兵庫県)	126 筆
栃木保健医療生協 (栃木県)	45 筆
その他	21 筆
合計	21,118 筆

宮城県生協連は、制度の抜本的拡充を求めるための署名を、県内 20 万筆・全国合計 100 万筆の目標に向け、6～7 月にかけて、県生協連 16 会員生協・県内の友誼団体や行政・全国の生協等へ協力の呼びかけを行いました。また、7 月 1 日に被災者の方々とともに署名への取り組みについて記者発表しました。

### ■取り組み紹介 ～みやぎ生協の署名活動～

『メンバーや職員が学習会の開催を行いながら、署名活動に取り組んでいます。』

- ①5 月 16 日、地域代表理事・エリアリーダーを中心に約 70 人の参加者で、岩手県消団連事務局長の伊藤慶子さんを講師に、支援制度の内容と現状や課題について学習しました。
- ②こーぷ委員会 (県内 319 ヶ所) の配付資料に制度の抜本的拡充を求める説明を入れ、ミニ学習会の開催 (6 月) などを行い、委員さんご本人とその家族を対象に署名を実施しました。
- ③初夏のコープのつどい (県内 434 会場・参加 10,840 人) で、学習と署名の呼びかけを行いました。
- ④被災地の応急仮設住宅での「ふれあい喫茶」を実施するなかで、喫茶に参加した方へ署名のお願いや仮設住宅自治会へ署名への協力についてのお願いをし、10,931 筆を集約しました。
- ⑤職員とその家族の署名分は、3,801 筆を集約しました。
- ⑥理事会と労組共同での署名活動を、全店舗 (46 店) で 7 月に実施し、6,196 筆を集約しました。7 月 1 日～15 日の期間中 1 日を行動日に設定し、職員を中心にメンバーと一緒に買い物に来店されるメンバーに店頭で署名の呼びかけを行いました。



みやぎ生協愛子店 店頭署名の様子

### ■全国の取り組み状況について

- ①全国の都道府県連に、7 月 9 日署名運動への協力のお願いと署名用紙 (500 枚) の発送を行いました。以下の県生協連及び単協では、署名用紙の増刷等を決めていただいております。新潟県生協連、奈良県生協連、岐阜県生協連、宮崎県生協連、京都府生協連、大阪府生協連、岡山県連、大阪いずみ市民生協、コープ石川、コープさっぽろ、コープしが
- ②生協労連では、いわて・みやぎ・ふくしまの 3 生協労組の呼びかけに応じて、全国での取り組みを決定しました。7 月末に 7 万枚の署名用紙を全国に発送し、取り組みを始めました。

署名運動へのご協力をお願いします。(第 1 次集約 : 9 月 30 日)